

スポーツ健康学科 令和7年度スキー・スノーボード実習報告



令和8年2月13日から17日にかけて、山形県の西川町スキー場および蔵王スキー場にて、スキー・スノーボード実習を実施いたしました。本実習は、ウィンタースポーツの知識と技術の向上を目的とするだけでなく、地域社会との関わりについて深く学ぶ機会として位置づけています。

期間中は実技指導に加え、特別講義として山形大学名誉教授の竹田隆一先生をゲストスピーカーにお迎えしました。竹田先生からは、「スポーツツーリズムを通じた地域創生」についてご講演をいただき、受講者は単なるスポーツ体験の枠を超え、多角的な視点から地域振興の可能性について多くの学びを得ることができました。

報告：遠矢英憲（スポーツ健康学科 上級准教授）



【参加学生の感想】

■ スキー班



橘 ゆう・田賀農 佳那（2年次）

今回の4泊5日のスキー実習では、見知らぬ環境の中で新しい仲間と一緒に活動を行い、とても貴重な経験をすることができました。初めてのスキーで不安もありましたが、事前学習やインストラクターの方々の丁寧なご指導のおかげで、少しずつ滑れるようになり、最終日には蔵王スキー場で滑ることができました。実習ではスキーの技術向上だけでなく、スポーツツーリズムに着目した講義などを通して、多くの学びを得ることができました。また、西川町の皆さんの温かさに触れる機会にもなり、14名の学生で過ごしたこの5日間は、互いに支え合いながら成長できたとても充実した時間となりました。

■ スノーボード班



三嶋 総侍（3年次）

私はスノーボード班として5日間活動させて頂きましたが、起こること全てが新しい体験、幸せな体験でした。まずスノーボード班の半数以上は未経験・1度だけ、という中でのスタートでしたが、全ての学生が終始笑顔で実習をしていました。それはインストラクターさんたちの丁寧で温かいご指導があったからだと思います。技能実習以外の生活では、近松様をはじめ、西川町の方々の思いやりの心を節々に感じました。AIの普及もあり、事務的で形式的な世の中の今、全くの赤の他人の宿泊所や食事に、配慮してくださる人がどれほど温かいか。「また来るね」と言われるために、私たちの知らない所でどれだけ尽力して下さったか。私たちは決してお金で買えない経験をさせて頂きました。近松様をはじめ、西川町の皆様、今回の実習を計画、引率して頂いた遠矢先生、濱本先生、その他ご尽力頂いた関係者様にスノーボード班を代表して心より感謝申し上げます。貴重な経験をありがとうございました。